

事業シート

事業名		保育所職員 C L M研修事業						事業開始年度				2023年度						
上位施策事業名								担当局・部名				こども支援部						
根拠法令等								担当課・担当名				保育幼稚園課						
事務区分		■ 自治事務 □ 法定受託事務						作成責任者				上野順一						
実施の背景		令和４年１２月に公表された文部科学省の調査結果では、小中学生の８．８％が「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされている。保育所の子どもたちの中にも「日常生活や集団生活の中で思うように行動したり、求められる行動ができない」子どもが多くなってきており、その子の発達や特性に見合った、知見に基づいた具体的な支援をどのように行ったらよいかわからないという保育現場の悩みが生じていた。こうした状況の中、連携協定を結ぶ「国立障害者リハビリテーションセンター学院」から「C L Mと個別の指導計画」を紹介されたことをきっかけに、令和２年度から一部の公立保育所に試験的に導入し、令和５年度から全保育所での導入を開始した。																
目 的 (何のために)		様々な特性を持ち、支援が必要な子どもが増加する中で、保育所では対象児が就学までに集団生活に馴染めるように手立てを講じる必要がある。三重県が先進的に行っているC L M（ﾎﾟｯｸ・ﾘｽﾄ・ｲﾝ三重）を保育所に取り入れ、当市における切れ目のない支援の実現のため、保育士の育成を目的として実施するものである。なお、研修については、単年度で実施できる施設に限られることから、毎年度継続的に実施し、全保育士の質の向上を図るものである。																
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	公立保育所 保育士								対象者数（全住民に対する割合）								
										222 人 (0.66%)								
	実施方法	□直接実施																
		■ 業務委託 又は □指定管理 (委託先又は指定管理者：)																
		□補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：)																
		□貸付（貸付先：) □その他（)																
事業内容 (手段、手法など)	事業内容																	
	C L M研修は年２回の巡回研修と中級研修、年１回の実践報告会を計画している。巡回指導研修は保育所（２施設）での実際の保育の中でC L Mの手法を実践し、直接講師から指導を受けるもの。中級研修は基礎研修で学び実践したことに対する指導、助言を受ける。実践報告会では１回目の研修以降、保育所で取り組んだC L Mの事例の報告と講評を行う。なお、研修以外にも添削指導を実施し、実際の保育の中でC L Mの手法を実践する際に、作成した資料の添削指導を受ける。																	
関連事業 (同一目的事業等)																		
コスト			2025年度（予算）				2024年度（決算）				2023年度（決算）				2022年度（決算）			
	事業費	事業費合計	1,037 千円				628 千円				215 千円				0 千円			
		事業費内訳 (2024年度分)	入間市公立保育所CLM方式による巡回指導業務委託料 569,200円*1 C L M個別指導計画シート 6,500円*1組*9施設															
		人件費	担当正職員	0.6	人	4,860	千円	0.6	人	4,860	千円	1.3	人	10,530	千円	0	人	0
		臨時職員等	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計	0	人	4,860	千円	0	人	4,860	千円	0	人	10,530	千円	0	人	0	千円	
	総事業費	5,897 千円				5,488 千円				10,745 千円				0 千円				

事業シート

事業名		保育所職員ＣＬＭ研修事業					事業開始年度		2023年度	
財 源 内 訳	国県支出金	518	千円	198	千円	0	千円	0	千円	
		国県支出金の内容		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金						
	地方債	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
	その他特財	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
		その他特財の内容								
	一般財源	5,379	千円	5,290	千円	10,745	千円	0	千円	
	財源合計	5,897	千円	5,488	千円	10,745	千円	0	千円	
事 業 実 績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）			単位	2024年度	2023年度	2022年度		
		巡回指導研修			回	2/2	0/0	0/0		
		実践報告会			回	1/1	0/0	0/0		
		全体研修・事例研修			回	0/0	2/2	0/0		
	単位当たりコスト	5,488千円	／	3回						
事 業 成 果	成果目標 （指標設定理由等）	本事業は、対象の子どもやクラスへの支援を目的としているため、支援の成果による変容の確認はできるが、数値的な成果指標は設定することはできない。								
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）			単位	2024年度	2023年度	2022年度		
						/	/	/		
						/	/	/		
						/	/	/		
自己評価		廃止・凍結		国・県・広域・民間 への移管		要改善		☒	現行通り・拡充	
評価の内容		入間市は児童発達支援の手法としてＣＬＭを取り入れ、試験導入期間も含めて５年間ほど取り組んできたが、この間、保育士は様々な形で技法を学び、各保育現場で実践に取り組んできたことから、子どもに対する、担当保育士の「観察力」、「分析力」、「支援力」が上がり、全体的な保育の質の向上に繋がっている。これまでは手のかかる大変な子どもということでのようにしてよいかかわらず、主に見守りを中心とした保育であったものが、ＣＬＭを通じて保育士がその子の特性を分析し、これに応じた様々な支援を行った結果、少しずつではあるが子どもに変化が見られ、これまで集団生活に馴染まなかった子どもが集団保育の場に入れるようになったり、またクラスの子どもたちにもその子を自然と受け入れる姿も見られるようになるなど、一定の効果が得られている。なお、2024年度からは、より実践的な巡回指導研修を実施することで、対象となった保育所全体のスキルアップ及びモチベーションアップにも繋がっている。 また、入間市の特徴的な保育として保育士募集のポスターなどにもCLM研修の実績を取り上げており、「保育の質の良さ」のアピールにもなっている。								
課 題	2024年度	ＣＬＭは公立保育所での取り組みを本格的に始めたばかりであり、まだ全ての保育士に十分に定着していない。また、各保育所でＣＬＭを進めていく中で、指導的立場の人材がいなかったことから、担任が自信をもって実践することができていない。								
	2025年度									

事業シート

事業名	保育所職員 C L M 研修事業	事業開始年度	2023年度
今後の予定	2023年度から全ての公立保育所において、入間市の保育の特徴とすべく、C L M を本格的に開始したが、座学の研修だけでは全ての保育士に手法を定着させることが難しい。このため、2028年度までに全ての施設において巡回指導研修を実施し、各保育所において現場で実際に子どもの行動を観察し、その場で直接講師から指導を受けることにより、各施設の保育士の C L M の定着を図る。また、C L M を日々実践していくためには、開発元である「N P O 法人ライフ・ステージ・サポートみえ」の講師からの指導のみならず、日ごろの保育において各施設の中で指導できる人材を育成する必要があることから、各施設の副主幹等に指導役に必要な研修を実施し、体制を整えていく。		
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)	どの自治体においてもインクルーシブ保育の研修は行っているが、開発元の法人がある三重県以外で積極的に C L M の研修を行っている自治体としては南アルプス市がある。南アルプス市は平成25年から公立保育所12ヶ所で C L M の実践を開始。毎年、導入研修、初級研修、中級研修、巡回研修、指導者・支援者研修、実践報告会などの研修事業を実施しており、上級プランナーなどの有資格者が各保育所の指導役を務めている。		
特記事項			